

「ICT推進フェア2014 in 東北」展示プログラム

会場：せんだいメディアテーク 1階「オープンスクエア」

日時：平成26年5月28日（水） 10：00～17：00

平成26年5月29日（木） 10：00～16：00

◆ ICT利活用ブース（1ブース）

ICT利活用による災害時の住民への被災情報等の提供及び高齢者等への安全安心支援サービスのための関連システムを紹介します。

岩手県久慈市にて行われた、超高齢社会づくり推進事業「モビリティの活用による高齢者向けICTサービスの有効性調査」の紹介及びモビリティ活用として検討されている小型電気自動車を展示します。

【パナソニック株式会社】【久慈市】

◆ 電気通信事業者による災害時サービスの体験ブース（1ブース）

電気通信事業者が災害時に提供する災害用伝言板サービス、衛星携帯電話、緊急速報メール等の紹介・体験利用及び機器類の展示・説明を行います。

【株式会社NTTドコモ 東北支社】【KDDI株式会社東北総支社】

【ソフトバンクモバイル株式会社】【東日本電信電話株式会社宮城支店】

◆ 安心、安全、新たな無線システムブース（4ブース）

東日本大震災の教訓を踏まえた新しい防災無線や暮らしに役立つ最新の無線システムなどについて、通信機器メーカー等による機器の展示及びその機器によるデモンストレーションを行います。

(1) 安心安全無線システム 【アイコム株式会社】

(2) 一斉指令&会議システム及び防災無線聞き返しシステム 【日東通信株式会社】

(3) 防災用トランシーバー 【八重洲無線株式会社】

(4) 災害に強いMCA無線システム 【一般財団法人移動無線センター】

◆ 地域における電波有効利用技術に関する動向調査ブース（1ブース）

「広域通信エリアを確保するための沿岸漁業用海岸局に必要な技術的条件に関する調査検討会」の報告及びこれを踏まえた小型船舶の安全航行を支援する通信システムの展示を行います。

【東北総合通信局】【古野電気株式会社】【アイコム株式会社】

◆ 戦略的情報通信技術研究開発推進事業ブース（４ブース）

総務省の「戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)」の地域ICT振興型研究開発課題に採択された東北管内の4課題について研究成果を機器展示及びポスター等により紹介します。

- (1) ICTを用いた集合住宅高齢者生活支援システムの研究開発
【地方独立行政法人青森県産業技術センター】
- (2) 遺跡発掘による出土遺物の計測・整理・デジタルアーカイブの研究開発 【岩手県立大学】
- (3) 電波マーカを利用した悪天候時運転支援システムの研究開発 【秋田県立大学】
- (4) オープンソースハードウェアとセンサーネットワークによる除雪支援システムの研究開発
【会津大学】

◆ 防災ソリューションブース（7ブース）

震災を教訓として、耐災害性を考慮して研究開発されたシステム等の展示及びデモンストレーションを行います。

- (1) NICT耐災害ICT研究センターの概要 【独立行政法人情報通信研究機構】
- (2) 聴覚障がい者支援アプリ「こえとら」と多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra4U」
【独立行政法人情報通信研究機構】
- (3) 「ネオポスター」による災害時の情報提供 【株式会社デジコンキューブ】
- (4) 公共情報コモンズとテレビデータ放送の連携について 【宮城県】
- (5) 「発災時の住民への情報伝達」の実証事業 【株式会社エヌ・ティ・ティ・データ】
【日本電気株式会社クラウドシステム研究所】
- (6) 「被災地における通信確保」の実証事業 【日本電信電話株式会社NTT未来ねっと研究所】
- (7) 「重層的な通信ネットワーク」の実証事業 【株式会社日立ソリューションズ東日本】

◆ 無線局免許申請手続きの電子申請の利用推進ブース（１ブース）

無線局免許申請手続きの電子申請に関する広報及び相談を行うとともに、システムにアクセスしてデモンストレーションを行います。 【東北総合通信局】

◆ 東北総合通信局の復興支援の紹介ブース（４ブース）

東北総合通信局では、様々な復興支援を行っています。その一部をパネルで紹介します。

- (1) 東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」の紹介
- (2) 安心・安全な女川町ICT復興街づくり計画（パネル展示）
- (3) 山田町ICT復興街づくり計画（パネル展示）
- (4) 東北総合通信局の復興支援（パネル展示）

※展示プログラムについては、変更になる場合があります。